

授業科目

地域災害・防災論II

| | | | | |
|--|-------------|----|--------------|----|
| 担当教員名 松岡 輝彦、安達 哲浩、竹井 豊、（尾身 誠司（非常勤））、 （卜部 厚志（非常勤）） | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 救急 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ◎ | ◎ | ○ | |

授業の概要

災害はいつどこで発生するか予測することは困難であるため、生命を守るためには日常における防災の取り組みが重要となる。本科目では、さまざまな災害に対する防災対策、地域における自身の役割などを理解し、行動に移すために必要な知識・技能とともに災害発生のおそれについて学習する。

授業の目的

災害はいつどこで発生するか予測することは困難であるため、生命を守るためには日常における防災の取り組みが重要となる。本科目では、さまざまな災害に対する防災対策、地域における自身の役割などを理解し、行動に移すために必要な知識・技能とともに災害発生のおそれについて理解する。

学習目標

災害はいつどこで発生するか予測することは困難であるため、生命を守るためには日常における防災の取り組みが重要となる。本科目では、さまざまな災害に対する防災対策、地域における自身の役割などを理解し、行動に移すために必要な知識・技能とともに災害発生のおそれについて理解する。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|------------------------|--------------|------------|
| 1 | 地域の自主防災活動（テキスト第11講） | 講義 | 尾身 誠司（非常勤） |
| 2 | 緊急救助技術を身につける（テキスト第13講） | 講義 | 安達 哲浩 |
| 3 | 防災訓練（テキスト第14講） | 講義 | 竹井 豊 |
| 4 | 地震のおそれと被害（テキスト第15講） | 講義 | 卜部 厚志（非常勤） |
| 5 | 土砂災害と対策（テキスト第19講） | 講義 | 卜部 厚志（非常勤） |
| 6 | 被害想定とハザードマップ（テキスト第25講） | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 7 | 避難と避難行動（テキスト第26講） | 講義 | 松岡 輝彦 |
| 8 | 災害と危機管理（テキスト第28講） | 講義 | 松岡 輝彦 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|-------|-----|---------|-------|--------|--------|
| 教科書 | 防災士教本 | | 日本防災士機構 | 2015年 | 3,000円 | 1年次購入済 |
| 参考書 | | | | | | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

毎回の講義ごとにレポートを提出、評価対象とする。

履修上の留意点

- 以下に挙げる場合は、科目試験の判定を放棄したものとみなす。
1. 1～14回のうち5回以上の欠席がある場合。
 2. 指定した提出物が期限（別途提示）までに提出されていない場合。
 3. 授業態度不良と判断された場合。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡する。